

令和6年度第9回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所： 令和6年12月3日（火）13：28～14：01 教授会室

出席者： 井手理事長（議長）、宮川副理事長、小泉理事、松岡理事、中嶋理事、
須戸環境科学研究院長、山根先端工学研究院長、森下人間文化学研究院長、
古株人間看護学研究院長、丸尾環境科学部長、徳満工学部長、市川人間文化学
部長、伊丹人間看護学部長、澤野事務局次長、
遠山委員、森委員、宮本委員

事務局： 真溪総務課長、高木財務課長、寺村経営企画課長、川分学生・就職支援課長、
郡田教務課長、小椋地域連携・研究支援課長、堀江高等専門学校開設準備室長、
前田課長補佐、佐竹主任主事

令和6年度第8回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について、一部文言修正のうえ承認された。

審議事項

- 1 人間看護学研究科博士前期課程設置届出（課程の変更）について
寺村経営企画課長より、資料に基づき説明があり、承認された。

報告事項

- 1 令和7年度滋賀県立大学学校推薦型選抜等特別選抜試験の受験状況について
郡田教務課長より、資料に基づき説明があった。
- 2 令和6年度卒業・修了予定者の進路決定状況等について
川分学生・就職支援課長より、資料に基づき説明があった。
[主な意見・質疑等]
 - ・ 早期に就職が決まった学生はインターンシップを利用し、インターンシップ先の企業に就職することが多いのか。
→ 集計はしていないが、インターンシップが就職につながることは一定数ある。インターンシップには協定型と自由応募型があり、大学と協定を結んだ企業でインターンシップを行う協定型は、就職につながる場合もあるが、どちらかといえば職場体験の意味合いが強い。一方、自由応募型は、学生が就職を前提に直接企業の募集に参加するもので、就職につながるが多い。
 - ・ 就職活動に取り組むことが遅い学生に対してはどのように働きかけているのか。
→ 就職セミナーの実施回数を一昨年の20回から昨年は60回に増やすなど積極的な働きかけを行っている。一方、就職活動の早期化が長期化につながっており、問題だと考えている。
- 3 各委員会等の結果の概要について
 - (1) 令和6年度第7回将来構想委員会
 - (2) 令和6年度第7回衛生委員会
 - (3) 令和6年度第1回環境整備安全委員会